



2009 Vol.
6



Photo by H.Wakita (c)

EXtra, EXpert and EXtreme
EXPRESS--

酒井大作が今季初ポールポジションを獲得!
秋吉耕佑が爆発的な速さを見せるか!?
タイトル争いの行方は!?



49秒台に入れた山口辰也が2番手からスタート。



3番手を獲得したのは中須賀克行

INFORMATION

GP250ラストシーズン!メモリアルラン開催!



全日本ロードレースで活躍したファクトリーマシンが復活!
ライダーには岡田忠之氏と高橋裕紀選手が登場!!

数々の名勝負、偉大なチャンピオンを多数輩出してきた全日本GP250クラスのラストシーズンに相応しく、スペシャル走行イベント「メモリアル・ラン」を開催!ライダーには、岡田忠之氏と高橋裕紀選手が登場!! GP250のレースとともに、見納めになるかもしれない貴重なマシンの走りをしっかりと目に焼き付けよう!

■日時・場所 / 10月18日(日) ビットウォーク中・ロードコース(西コース)
■マシン(ライダー) / #74 NSR250 岡田忠之氏・#55 RS250RW 高橋裕紀選手
※天候等の状況により、中止となる場合がございます。

TIME TABLE

※タイムテーブルは、変更されることがあります。

10:30 -	GP125 コースイン～選手紹介
10:45 -	GP125 決勝レース..... 10Laps
11:25 -	ST600 コースイン～選手紹介
11:40 -	ST600 決勝レース..... 15Laps
12:35 - 13:25	ビットウォーク / バレード走行
13:45 -	JSB1000 コースイン～選手紹介
14:00 -	JSB1000 決勝レース..... 20Laps
14:55 -	GP250 コースイン～選手紹介
15:10 -	GP250 決勝レース..... 10Laps
16:00 -	モーターサイクルレバレード

QUALIFYING PRACTICE REPORT



各クラスポールシッター。
 (左から)GP125尾野 弘樹、ST600黒川 武彦、JSB1000酒井 大作、GP250宇井 陽一



Pole Position 酒井 大作 1'49.660

「テストは台風だったので、このレースウィークが1年半ぶりのもてぎのドライ。だから最初は戸惑ったけど、メカニックと問題点などを洗い出してセットを進めた結果、早い段階で良いセットが見つかった。これまでにバイク自体は良い状態に仕上がっているの、それほど苦労はしなかった。49秒台でのポールポジションが良かったというよりも、セッション1と2で安定して速いペースで走れたことが重要だと思う。決勝レースは複数台での大バトルになると予想している。その中で粘り強く最後まで諦めずに最後まで走り抜いて、魅せるレースをできれば最高ですね」

●予選日：天候／曇 路面／ドライ
 ●決勝コースイン／13:45 スタート／14:00(20周)



いよいよ2009年も大詰めを迎え、今回のツインリンクもてぎラウンドを含め、残り2戦。JSB1000クラス、GP250クラスは最終戦に2レースあるが、タイトル争いの行方が気になる時期になってきた。

10月6日(火)～8日(木)に行われた事前テストは台風18号の影響を受け、ほとんどのライダーが、満身にドライコンディションで走れていなかった。そのため事実上、金曜日からドライでのセットアップがスタートした。その中でも、今回、そして最終戦鈴鹿にスポット参戦する秋吉耕佑の速さは際立つものがあった。しかし、酒井大作もマシンを着実に上げていた。テスト2日目は、秋吉が大雨の中タイムを縮めトップタイムをマークし注目されたが、この秋吉のタイムを大作は区間タイムで上回っていた。その周回で転倒を喫してしまい、タイムは記録されなかったものの、その好調をそのままレースウィークに持ち込んだ。「戦うバイク」を目指してマシンを作ったという大

作が今季初ポールポジションを獲得した。

「いいリズムがつかめているし、(レースは)キッチリ走ることだけを考えている。予選は第3セッションよりも第2セッション、第2セッションよりも第1セッションの方が、いい出来だったと思う」と大作。実際、第1セッションでは、フロントにユーズドを履き、リアは新品だったが、20周目にベストタイムとなる1分50秒371をマーク。20周のレースを見据えて考えると、高いアベレージスピードを持っていると言える。

2番手にはSUGOでの傷がやっと癒えた山口辰也がつけた。「予選では、ちょっと失敗してしまったけれど、フロントロウなら問題ない。マシンもいい感じに仕上がってきているので、1分50秒台で走れると思う」と、こちらも自信をのぞかせる。

3番手には、ディフェンディングチャンピオンの中須賀克行がつけフロントロウ最後のグリッドを獲得。「前回に比べればいい状態。今回もスタートで前に出てレースをコントロールしたい」と中須賀。

全セッションを制覇する勢いだった秋吉は、思うようにマシンが決まらず、最終セッションでも予選タイヤを使わずに4番手、2列目からスタートすることになった。

「本当は1分48秒5ぐらいを狙っていたんですが、いろいろ事情があってアタックできませんでした。アベレージを上げるために一つずつ課題をこなしてきているし、決勝朝のウォームアップ走行で、もう一つ上の段階にいけると思うので注目してください」と秋吉。



予選4番手、決勝での走り注目される#5秋吉耕佑

ブリヂストンは、ここ数戦、予選タイヤを投入してはなかったが、第4戦、第5戦とダンロップ勢にポールポジションを獲られていたこともあり、今回は予選タイヤを持ち込んでいる。酒井、山口、柳川明、伊藤真一が使ったが、柳川と伊藤はタイムが伸び悩んでしまった。

もし秋吉が言う、もう一步高いレベルのセッティングが決まれば、独走する可能性もあるが、酒井と山口も高いアベレージスピードを持っている。中須賀が前に出て、抑えることができれば前戦のような7台に、秋吉を加えた8台でのトップ争いが繰り広げられるだろう。

ここまで5戦を終え、5人のウイナーが誕生しているJSB1000クラス。ツインリンクもてぎでは、誰かが2勝目を挙げるのか? それとも6人目のウイナーが誕生するのか??

[佐藤 寿宏]



#87柳川明は5番グリッドからスタートする

全日本ロードレース選手権

GP125 youth CUP に注目しよう! [5]

17歳以下(登録時)の選手を対象にGP125クラスに設定されている「ユースカップ」。今シーズンはスポット参戦を含め、19名がエントリー。後半戦に入り徐々に頭角を現している。

3戦連続で表彰台に上り前戦の岡山でGP125のランキングトップに浮上したのは尾野弘樹(17)。そして、3位で初の表彰台に上がった大久保光(16)もランキング6位に浮上。ユースカップの中では2位につけている。

しかし大久保は表彰台だけでは満足していない。「3位は悔しい結果でした。これまで一度も勝っていないので、残り2戦で、なんとか1勝をあげたい」という。今大会の予選では11番手、4列目から決勝に挑むが「トップに立つ自信はあります。地元に近いこのコースで勝って、最終戦にいい流れを持ち込みたい」と闘志を燃やしている。岡山でも12番手からのスタートで表彰台を獲得している大久保。今大会でも名前通りの光る走りが期待できそうだ。



シーズン前から目標にしていた「優勝」をここで達成したいという大久保光

JSB1000 CLASS STARTING GRID

暫定

1	1'49.660 39 酒井 大作 ヨシムラスキwithJOMO	2	1'49.764 634 山口 辰也 MuSASHI RT/ハルクプロ	3	1'50.049 1 中須賀 克行 YSP Racing Team
2	1'50.334 5 秋吉 耕佑 F.C.C.TSR Honda	4	1'50.552 87 柳川 明 TEAM GREEN	5	1'50.998 2 大崎 誠之 SP忠男レーシングチーム
3	1'51.133 8 亀谷 長純 Honda DREAM RT 桜井ホンダ	6	1'51.228 62 横江 竜司 RT森のくまさん佐藤塾	7	1'51.436 33 伊藤 真一 Keihin Kohara R.T.
4	1'51.570 56 高橋 巧 ハーニングブラッドRT	8	1'51.715 48 出口 修 PLOT FARO パンテラー	9	1'52.136 10 徳留 和樹 ヨシムラスキwithJOMO
5	1'53.422 77 井筒 仁康 TRICK☆STAR RACING	10	1'53.793 32 今野 由寛 MotoMap SUPPLY	11	1'53.980 18 東村 伊佐三 RS-ITOH&ASIA
6	1'54.000 30 清水 郁巳 ホンダドリームR.高崎B'WISER.T	12	1'54.414 29 中村 知雅 中村エンジン研究所	13	1'54.639 27 西嶋 修 BEET RACING
7	1'54.662 26 山中 正之 Honda Q選会 明和レーシング	14	1'54.857 31 石川 朋之 Z-TECHwithビジネスリアート	14	1'55.354 83 須貝 義行 チームドゥカティレーシングジャパン
8	1'55.669 36 浜口 俊之 BATTLE&Team 橋本組	15	1'57.586 38 原田 洋孝 R.S.ガレージハラダ姫路	15	41 奈須 勉 奈須飯盆AS五川・ホストン前橋店
9	1'57.349 73 久保山 正朗 Honda浜友会浜松エスカルゴ	16	1'57.408 75 里 実 Verity Racing	16	1'57.432 61 高田 速人 TEAM N.K.B
10	1'58.424 40 井上 健志 炎R	17	1'58.722 45 安藤 元之 MOTO-ACE-TEAM!	17	1'59.063 50 菅原 剛 ケントJトラストJr.
11	1'59.111 47 吉広 敦 CLUBNEXT&中村Eng	18	1'59.615 72 大貫 貴彦 ロケットけろたん&ネオラナー	18	1'59.975 46 喜多田 学 (有)成田総合サービスTS関東

※このグリッド表は、公式予選結果を元に作成しています。
正式のグリッドは、2009年10月18日のウォームアップ走行終了後に発表されます。

史上稀に見る激戦区 ST600を斬る

ST600 Battle of 2009

今回、タイトルが決まる可能性があるのがST600クラスだ。ポイントリーダーの手島雄介と2番手の小西良輝の差は19ポイント。最終戦MFJグランプリではボーナスポイントが3ポイント付くために、23ポイント以上の差がつけば手島のタイトルが決まる。手島のタイトル獲得の条件は、手島が勝ち、小西が3位以下になることだ。手島としてはチームメイトの岩田悟が2位に入ってくれるのが理想。

ただ、満足にドライで走れているライダーが皆無な状況となっているため、不安要素は多い。さらにカワサキ+ピレリの組み合わせが予選では1-2を決め、3番手の野田弘樹からコマ5秒差の中に10台以上がひしめく激戦となった。「まだマシンは完全に決まっていますが、やるしかないです!」と手島。小西も「誰がどうのこ

うと言うより自分自身に勝つことを考えている」とレースに集中している。決勝も、2人の順位の変動から目が離せない。



タイトルを今回決めた手島。それを阻止したい小西とのバトルに注目!

ST 600

●予選日: 天候/曇 路面/ドライ
●決勝コースイン/11:25 スタート/11:40(15周)

POLE POSITION INTERVIEW

もてぎマイスター 黒川武彦が、逆転でポールポジション!!



Pole Position 黒川 武彦 1'57.013

『昨日の走りからファイナルなどを見直して、セッティングを進めることができた。56秒台に入れたかったので、タイムには納得していません。テストが台風だった他のみんなに比べて、地元の自分は有利なので、ポールポジションは運がよかっただけ。決勝レースは体力的に厳しいと思うので、トップ集団から離れてしまったとしても、出来るだけ上位でフィニッシュしたいと思います。まだポイントが取れておらず、このままでは最終戦鈴鹿に行く権利がないので頑張ります!』

ST600 公式予選結果

Pos	No.	Name	Time	Team
1	705	黒川 武彦	1'57.013	松本クリニック/IPBスピード
2	16	清水 直樹	1'57.383	RS-ITOH&KAZE
3	6	野田 弘樹	1'57.619	テルルハーニーレーシング
4	48	手島 雄介	1'57.696	TSR with ALT
5	634	小西 良輝	1'57.729	MuSASHI RT/ハルクプロ
6	81	佐藤 裕児	1'57.732	YSP Racing Team
7	38	中富 伸一	1'57.748	HITMAN RC甲子園ヤマハ
8	7	武田 雄一	1'57.774	HITMAN RC甲子園ヤマハ
9	75	豊田 浩史	1'57.815	D REX
10	76	関口 太郎	1'57.836	Team TARO&PLUS ONE
11	73	小林 龍太	1'57.840	MuSASHI RT/ハルクプロ
12	14	岩田 悟	1'57.843	TSR
13	72	宮崎 敦	1'57.845	TEAM DAYTONA
14	55	國川 浩道	1'57.904	DyDoミツレーシングチーム
15	10	高橋 江紀	1'57.910	KeihinKoharaR.T.
16	9	生形 秀之	1'57.980	エスバルドリームレーシング
17	49	渡辺 一馬	1'58.061	TEAM PLUS ONE
18	11	寺本 幸司	1'58.193	PLOT FARO パンテラー
19	4	稲垣 誠	1'58.232	ハーニングブラッドRT
20	31	中津原 尚宏	1'58.351	研友会新木PGレーシング
21	26	東浦 正浩	1'58.656	プラスミューレーシングチーム
22	39	新庄 雅也	1'58.698	RACINGSUPPLYwithAUTOBOY_&優臣
23	27	大木 崇行	1'59.355	club HARC-PRO
24	19	佐竹 隆幸	1'59.452	チームOSG&モトスポーツ
25	21	佐藤 周	1'59.553	MST TAMITON-R
26	18	森 新	1'59.583	TEAM PLUS ONE
27	15	津田 拓也	1'59.584	チームOSG&モトスポーツ
28	91	中山 智博	1'59.605	RS-ITOH&KAZE
29	25	川原 英実	1'59.649	G-TRIBE Racing
30	22	中山 真太郎	1'59.744	KoharaRCAKINORI
31	47	中本 都	1'59.762	SP忠男レーシングチーム
32	50	中村 豊	2'00.024	TEAM PLUS ONE
33	33	深津 拓真	2'00.064	PLOT FARO パンテラー
34	40	細野 敏之	2'00.065	MST TAMITON-R
35	43	小田 茂輝	2'00.076	エスバルドリームレーシング
36	44	斎藤 一輝	2'00.229	ウイングシンイ.R.O
37	62	佐藤 友之	2'00.273	RT 森のくまさん 佐藤塾
38	69	原田 貴也	2'00.353	CLUB HARC-PRO
39	32	大塚 幸也	2'00.398	伊藤レーシング/GMDスズカ
40	30	小菅 岳大	2'00.646	CLUB HARC-PRO.

以上予選通過車両:
41 34 佐藤 宏司 2'00.653 motolalpha.com
42 71 須藤 貞仁 2'00.731 H.M.F
43 36 五十嵐 明弘 2'00.795 Verityracingteam
44 45 田中 大介 2'01.018 ブルドッカーダゴス
45 37 医王田 幸弘 2'01.224 TRICK☆STAR RACING
46 46 山村 良憲 2'01.500 GBSレーシング
47 35 近藤 湧也 2'01.605 TEAM CRAFT GR
48 57 横山 耕二 2'01.768 CLUB HARC-PRO.
49 53 高田 昌明 2'01.795 RSR+539SOKO
50 51 小島 康孝 2'02.291 松本クリニック/ニカスピード
51 52 梶田 博文 2'05.407 RSR539soko+KRMRS
28 古畑 博志 出走せず レーシングチーム/ハーニービー
41 秋谷 守 出走せず K-max Racing
54 井上 智雄 出走せず GRACERACINGTEAM

参加台数 54 台 出走台数 51 台

●予選・決勝開催日/10月17日(土)
●天候・路面/予選・決勝(曇/ドライ)
●決勝レース/6周

RACE RESULT

5台による激しい争いは赤旗提示で決着。優勝は谷川壮洋



GP-MONOクラスは土曜日に決勝が行われた。予選でコースレコードを更新した渡辺陽向、谷川壮洋、花房一樹、藤井謙汰、小室旭の5台がレース序盤から後続を引き離し、トップグループを形成する。めまぐるしく順位を入れかえながらの激しいトップ争いは、7周目のダウンヒルストレートで失速した谷川に接触した渡辺が転倒。マシンとともにコース上をふさいでしまったため、赤旗が提示される。10周が予定されていたレースだが規定周回数に達していたため、6周終了時点の順位でリザルトが決定した。谷川が今季初優勝を決め、2位は渡辺、3位は藤井、4位は小室、5位は花房という結果となった。小室はポイントで78に伸ばしランキングトップを死守したが、花房が2ポイント差、藤井が7ポイント差に迫っており、タイトル争いはこの3名に絞られたものの、その行方はますます混沌としてきた。最終戦鈴鹿での闘いに注目したい。

WINNER 優勝/谷川 壮洋

『決勝は、予選で2分5秒台を出していたトップ5台が離れずに展開すると思った。2つのグループになる可能性もあるので、前によいと考えた。レースが始まるとバイクの差がなかったんで、突っ込み合戦でタイムが落ちてしまった。陽向のタイヤはつらそうで、最後に仕掛けようと思っていたから、できれば最後まで走って決着をつけたかった。あまりすっきりしないレースだったが、今年初優勝できたのは嬉しい』

GP-MONO 決勝レース結果

Pos	No	Rider	Team	Lap	Total Time
1	6	谷川 壮洋	TEAM PLUS ONE	6	12'44.697
2	35	渡辺 陽向	TeamProjectμ7C	6	12'45.012
3	3	藤井 謙汰	TSR	6	12'45.053
4	11	小室 旭	TeamKOMUROwithHARC	6	12'45.318
5	87	花房 一樹	テック・2&nyusan.com/PRCS	6	12'45.449
6	10	安村 武志	チーム テック・2	6	12'51.653
7	46	星野 知也	ミクニBeat 4413	6	12'54.381
8	38	松永 弘志	TS関東REPSOL/T-GP	6	12'56.839
9	4	中木 亮輔	オールスターモータースポーツ	6	12'56.993
10	66	丸山 美由貴	オールスターモータースポーツ	6	12'58.856
11	37	坪川 浩明	TEAM-MARGUERITE	6	12'59.031
12	5	岡田 義治	MRF&RH松島・(株)NTR	6	12'59.580
13	19	山田 俊樹	MRF&RH松島・(株)NTR	6	12'59.712
14	58	松井 洪弥	TEAM PLUS ONE	6	13'01.538
15	30	矢田 崇一	モトバム&レッドフェザーヨシダ	6	13'01.692
16	7	比企 徹	レーシングサブライ角力斗雲	6	13'03.817
17	28	吉道 竜也	テルミル・ハニービーレーシング	6	13'06.392
18	21	江崎屋 学	プリティ&nyusan.com	6	13'12.009
19	34	畑中 要	FTR・タイヤナビ・Big☆教	6	13'12.380
20	41	岡崎 静夏	レーシングガレージMoMo	6	13'12.628
21	16	赤間 清	CLUB HARC-PROJ.	6	13'13.189
22	36	松江 保幸	TeamProjectμ7C	6	13'13.626
23	72	岩本 有	銀色バイク&Kfb	6	13'57.836
24	49	後藤 清	キートンRT-POP-G-R	6	13'57.920
25	84	長島 智司	G-TRIBE&マーガレット☆	6	14'08.929

以上 規定周回数完走:
18 根村 拓歩 18 GARAGE RACING TEAM 0
73 三好 稔摘 パワーバイク&SAT'S 0

参加台数 28台 出走台数 27台
ベストラップ: 6 谷川 壮洋 2'05.773 6/6 137.43Km/h
完走規定周回数 4
※6周完了時のダウンヒルストレートの転倒事故によりコース上に車両が残った為、赤旗中断とした。国内競技規則 付則4 23-1-3により順位を認定した。

●予選日: 天候/曇 路面/ドライ
●決勝コースイン/10:30 スタート/10:45(10周)

POLE POSITION INTERVIEW

ポイントリーダーの尾野弘樹が全日本初、ポールポジション獲得!



Pole Position 尾野 弘樹 2'01.993

『予選では59秒台を狙っていましたが、コースインして2周目でコースアウトして転倒してしまいました。その後は自分のリズムがとれなくて、最後にトップタイムは出たのですが、納得いくタイムではありませんでした。初ポールはうれしいですが、細かなマシンのダメージと転倒の時に手を痛めてしまい、自分では納得できるタイムではありません。決勝では、レコードタイムを塗り替える、すごい! と思ってもらえるような走りを見せて、チャンピオンを狙いたいです』

GP125 公式予選結果

Pos No.	Name	Time	Team
1	3 尾野 弘樹	2'01.993	BATTLE FACTORY
2	5 山田 亮太	2'02.469	TEAM PLUS ONE
3	2 井手 敏男	2'02.934	チーム テック・2
4	11 矢作 雄馬	2'02.998	桶川塾&ENDURANCE
5	1 菊地 寛幸	2'03.135	チームウイラー
6	6 柳沢 祐	2'03.180	18 GARAGE RACING TEAM
7	55 岩田 裕臣	2'03.185	DeDoミツレーシングチーム
8	68 篠崎 佐助	2'03.289	チーム テック・2
9	8 日浦 大治朗	2'03.301	Team NOBBY
10	16 鎌田 悟	2'03.319	ENDURANCE+桶川スポーツランド
11	20 大久保 光	2'03.415	18 GARAGE RACING TEAM
12	26 権藤 俊光	2'03.914	BATTLE FACTORY
13	91 森 俊也	2'03.946	racing sayama
14	25 山本 剛大	2'03.976	Team NOBBY
15	45 長島 哲太	2'04.037	TeamProjectμ 7C
16	51 藤井 謙汰	2'04.258	TSR
17	23 東 幸寛	2'04.446	TeamAZUMA+sonic
18	64 籠島 欣雄	2'04.600	MUSASHI RACING
19	15 古市 右京	2'04.708	EUROPORT&ASPIRATION
20	36 引沼 雄太	2'04.786	KTR-SC&桶川塾
21	27 小磯 崇	2'04.850	モトアルファ&大洗サーキット
22	13 野上根 航汰	2'04.897	伊藤レーシングGMDスズカ
23	14 大金 佑輝	2'04.995	ENDURANCE&桶川塾
24	34 日浦 健	2'05.013	Team NOBBY
25	53 人見 研吾	2'05.165	Y.U.Eレーシング
26	28 大塚 卓也	2'05.178	HondaブルーヘルメットMSC
27	12 仲城 英幸	2'05.314	Projectμ7C HARC
28	63 石崎 司也	2'05.555	18 GARAGE RT たかだ農園
29	77 安村 武志	2'05.707	チーム テック・2
30	99 佐藤 正之	2'05.848	racing sayama
31	24 中本 翔	2'06.025	18 GARAGE RACING TEAM
32	17 天野 邦博	2'06.325	Honda狭山レーシングチーム
33	19 今中 満	2'06.440	チーム RISKY
34	32 丸山 隼一	2'07.107	TEAM i-FACTORY
35	41 石井 春希	2'07.185	立花レーシングwithspruce/PT
36	72 濱原 颯道	2'07.240	桶川塾&ENDURANCE
37	21 村田 憲彦	2'07.468	CLUBY's★J-OFFICE
38	47 福島 宏幸	2'07.792	team RISKY
39	29 沖藤 陽一	2'08.063	オートテックニックススポーツ48会
40	31 川瀬 和希	2'09.338	CLUBY's★J-OFFICE

以上予選通過車両:
41 56 石澤 直人 - 2'11.259 A.G.mee&MITMCC!
22 菅谷 慎一 出走せず TEAM PLUS ONE
48 浦本 修充 出走せず TEAM IRONBARONS
予選通過基準タイム(110%) 2'14.192
※yは2009年エースカップ登録者

●予選日: 天候/曇 路面/ドライ
●決勝コースイン/14:55 スタート/15:10(10周)

POLE POSITION INTERVIEW

GP2プロト森脇尚護が総合トップ! GP250は宇井陽一



Pole Position 宇井 陽一 (GP250) 1'54.906

『事前テストは台風とかもありましたが、スポーツ走行も含めてレインもドライも走れたので、いい感じでレースウィークに入れました。今日は自分で思った通りに進めることが出来ていたんですが、少し行き過ぎてオーバーランしてしまった…。レースに向けては、今回はセッティングもしっかり出ているし、及川さんを抑えて勝ちたいですね。ここは地元にも近く、去年ここでは転倒しているだけに、今年は応援してくれるファンクラブの皆さんにも魅せるレースをして、何が何でも勝って鈴鹿に臨みたいと思います』

GP2プロトを駆る#83森脇尚護(写真一番下)

Pole Position 宇井 陽一 (GP250) 1'54.906

『事前テストは台風とかもありましたが、スポーツ走行も含めてレインもドライも走れたので、いい感じでレースウィークに入れました。今日は自分で思った通りに進めることが出来ていたんですが、少し行き過ぎてオーバーランしてしまった…。レースに向けては、今回はセッティングもしっかり出ているし、及川さんを抑えて勝ちたいですね。ここは地元にも近く、去年ここでは転倒しているだけに、今年は応援してくれるファンクラブの皆さんにも魅せるレースをして、何が何でも勝って鈴鹿に臨みたいと思います』

GP250 公式予選結果

Pos No.	Name	Time	Team
83	G 森脇 尚護	1'53.758	モリワキレーシング
1	41 - 宇井 陽一	1'54.906	立花レーシングwithspruce/PT
2	3 - 及川 誠人	1'55.673	COLT&SJR
3	33 - 藤田 拓哉	1'56.067	21人かんRT&DOG FIGHT R
4	8 - 渡辺 一樹	1'56.293	COLT&SJR
5	46 - 星野 知也	1'58.922	ミクニBeat 4413
6	24 - 小口 理	1'59.766	ALLMAN&OW小口歯科医院
7	48 - 柴原 誠	2'00.190	K-max racing
8	75 - 高杉 泰緒	2'00.596	パーニングブラッドRT
9	19 - 中尾 健治	2'01.286	レイラスポーツ
10	64 - 桜井 晋吾	2'01.741	Garage 4413
11	22 - 小口 亘	2'01.872	ALLMAN&OWRACING
12	26 - 依田 忍	2'01.886	Garage 4413
13	62 - 飯塚 英治	2'02.699	チームドゥカティレーシングジャパン
14	36 - 飯塚 弘樹	2'03.601	ガレージ国政&飯塚自動車商会
15	14 - 福山 京太	2'03.932	TEAMモトスポーツ
16	25 - 粕尾 純也	2'05.270	
17	28 - 加藤 高史	2'06.270	Oshiro Racing

以上予選通過車両:
予選通過基準タイム(110%) 2'06.369
※G=GP2(賞典外)